

所沢市におけるアライグマ生息状況調査

堀井 達夫・北浦 恵美・横山 伸夫
(トトロのふるさと基金 調査部会)

要旨

アライグマは所沢市にどのくらい棲んでいるのだろうか、その被害はどのくらいなのだろうか。棲家とされる神社仏閣を中心に足跡・爪痕を中心に棲息状況調査を行った。133ヶ所中 92ヶ所・69%に痕跡があり、現在侵入している可能性がある所は 15ヶ所・11%だった。

キーワード：足跡；神社仏閣；爪痕；緑地

はじめに

アライグマは現在日本全域に分布を拡大しており、その被害も増加傾向にある。2005年に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(以降外来生物法とする)」が成立しアライグマは輸入、販売、飼養、運搬が規制される特定外来生物に指定されたが、2010年には全国 47 都道府県に分布することが確認された(川道ほか 2010；川道ほか 2013)。アライグマのもたらす被害としては、自然生態系への被害、民家や社寺などへの侵入による汚損・破壊の被害、農作物や養魚への被害、病気の伝搬の可能性などがあげられる。しかし、その分布状況などは不明の部分が多い。これまで所沢市では調査されたことが無いので、生息状況について調査をすることとした。

調査地概要と調査方法

アライグマは神社仏閣の屋根裏に棲み付き、そこで子育てもすることが多く報告されていることから、所沢市全域と隣接する市町村の一部に存在する神社仏閣(所沢市教育委員会 2006)それに類する建造物に残された爪痕や足跡の状態を観察し、アライグマの棲み付きの有無や出入りの有無などを調査した。

具体的には、①調査日時、②調査者氏名、③天候、④建造物の形状と配置、⑤柱などに残された爪痕と足跡、特にアライグマの特徴である 5 本爪の確認、⑥天井裏などへ侵入の可能性の有無、⑦管理者がいる場合は目撃情報と被害状況の聞き取り、などである。

資料 1. 「アライグマ爪痕調査記録用紙」参照

調査日

2013 年 10 月 18 日～12 月 23 日

結果・考察

調査の結果は次のように分類した。

- ・現在侵入している可能性がある⇒●
- ・過去に侵入していた可能性がある⇒○
- ・侵入は無いが現在訪問痕跡がある可能性がある⇒▲
- ・過去に訪問していた可能性がある⇒△
- ・痕跡が認められない⇒□

表 1 に示すようにアライグマの痕跡は、133 ケ所中 92 ケ所（69％）に認められた。現在侵入している可能性がある所は 15 ケ所（11％）だった。

表 1 アライグマの侵入状況

年	合計	●	○	▲	△	□
2013 年	133	15	7	26	44	41
%		11	5	20	33	31

図 1 は調査結果を地図に落とししたものであるが、痕跡の多い所は緑地に囲まれた所である。柳瀬川や東川等の川流域にはあまり多く無いがこれは川の周辺には人家が多いためと思われる。

今後の課題

2013 年は所沢市の神社仏閣を中心にアライグマの棲息状況を調査したが、今後は、更に棲息状況の確認と農作物や建造物等への被害状況の把握に努めたい。所沢市ではアライグマの捕獲を行っているが、その実態は 2009 年 15 頭、2010 年 2 頭、2011 年 9 頭（埼玉県環境部自然環境課 2012）と極く少数である。被害の拡大を防ぐことを前提に、我々市民はどうしたら良いのか検討を進めて行きたいと思っている。

調査者(アイウエオ順)

石田 アイ子
牛尾 雪
川崎 碧
北浦 恵美
佐藤 政明
竹内 大悟
西窪 遥海
福田 友美子
堀井 達夫
横山 伸夫

謝辞

本調査を行うに当たって、関西野生生物研究所代表の川道美枝子氏及び日本獣医生命科学大学の加藤卓也氏から多大なるご指導をいただきました。深く感謝申し上げます。

引用文献

川道美枝子・川道武男・金田正人・加藤卓也 (2010) 文化財等の木造建造物へのアライグマ侵入実態. 京都歴史災害研究第 11 号. 31-40.

川道美枝子・川道武男・山本憲一・八尋由佳・間恭子・金田正人・加藤卓也 (2013) アライグマ侵入実態とその対策. 畜産の研究第 67 巻第 6 号.

埼玉県環境部自然環境課 (2012) 平成 24 年度アライグマ生息状況等調査業務報告書. 平成 24 年 9 月.

所沢市教育委員会 (2006) 所沢の神社・所沢の寺院 ところざわ歴史物語付録.

資料 1. 「アライグマ爪痕調査記録用紙」

アライグマ爪痕調査記録用紙		記録写真	
調査地 (社寺名・住所)	101 天神社 坂之下64	調査者氏名	堀井、横山
調査年月日	2013 年 11 月 11 日 9 時 ~ 時	天候	晴れ
調査社寺 建造物の形状 と簡単な配置図			
GPS情報 N35.811942 E139.542706			
調査結果	<p>※該当する項目の前の [] に○印を記入。I は一番多い柱の爪痕の数。</p> <p>A [] 爪痕を確認したI</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [] 1~5 個 2 [] 6~10 個 3 [] 10 個以上 4 [] 数えられないほど <p>II [] 5本爪の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [] 古い爪痕のみである 2 [] 5本爪を確認した 3 [] 新しい爪痕もある 4 [] 5本爪は確認できず 5 [] 新しい爪痕が多い <p>III [] 爪痕の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [] 古い爪痕のみである 2 [] 新しい爪痕もある 3 [] 新しい爪痕が多い <p>IV [] その他の生活痕跡</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 [] 足跡 2 [] 糞 3 [] その他 <p>B [] 爪痕は未確認</p> <p>C [] 建物への侵入を確認した</p> <p>被害ランク <input type="checkbox"/> △</p> <p>被害ランク：アライグマが ●現在、侵入している可能性がある。 ▲訪問している可能性がある。 ○過去に侵入していた可能性がある。 △過去に訪問していた可能性がある。 □痕跡が認められなかった。</p>		
	<p>爪痕の特徴</p> <p>爪痕① 物置</p> <p>爪痕② 物置</p> <p>爪痕③ 本殿</p> <p>特定の柱に集中して爪痕があり、全体的にはそれほど多くはない。周りは道路に囲まれており、線は少ない。水路はすぐ近くにあり。</p> <p>管理者等からの聞き取り情報及び管理者への情報提供の有無</p>		

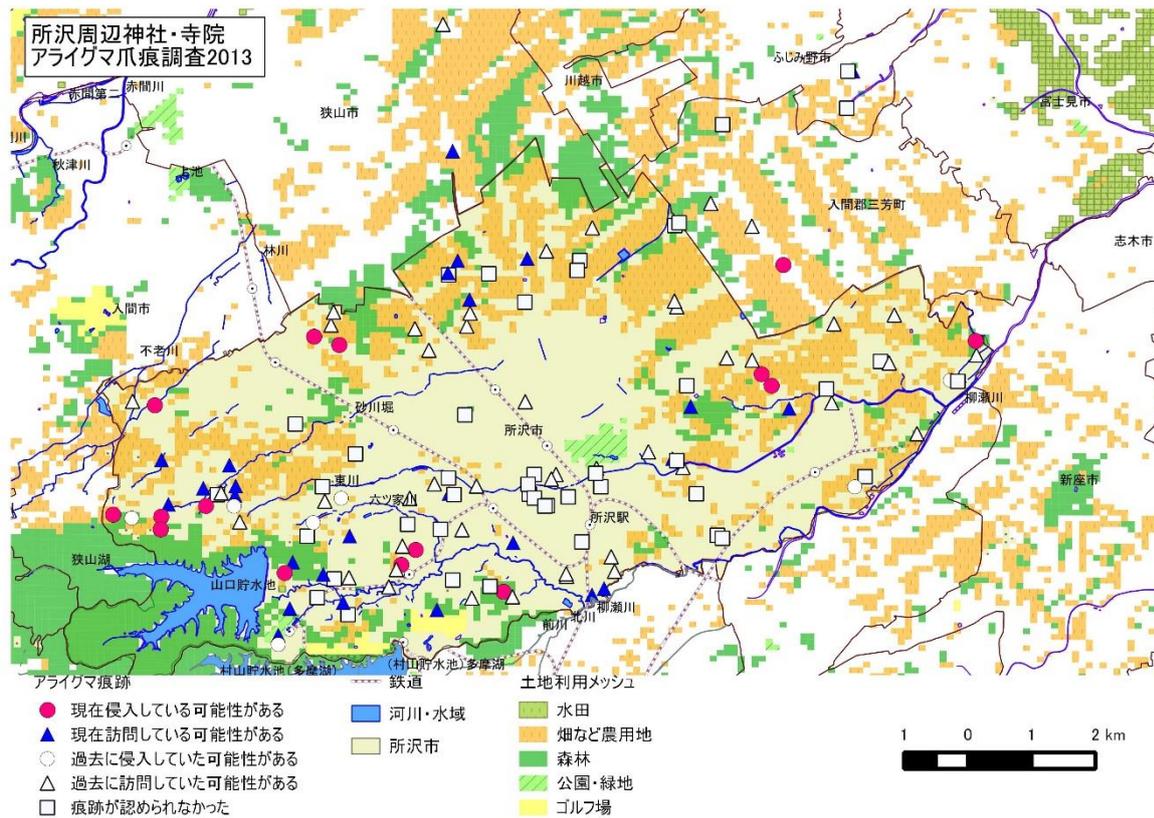


図1 アライグマ爪痕調査結果